

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

市町名	大崎上島町
所属名	健康福祉課
担当者名	立田清治
連絡先(電話)	0846-62-0303

タイトル	権利擁護支援の推進
区分(あてはまるものにチェックを)	☒ 自立支援、介護予防、重度化防止 ☐ 介護給付費等適正化

現状と課題			
高齢化に伴い、認知症高齢者や障害者など、判断能力や生活能力が不十分な人々が増加している。こうした人々が安心して暮らせる社会の実現には、権利擁護支援の整備と強化が不可欠となっている。 本町では、判断能力が低下した高齢者や障害者が地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度に関する相談から申立て、受任まで一貫した支援を行っている。また、社協が行っている福祉サービス利用援助事業「かけはし」を通じて、日常的な金銭管理や福祉サービスの相談支援も実施していく。			
第9期（令和7年度）における具体的な取組			
相談の経路や内容が多様化しているため、各相談窓口や関係機関が連携・調整しながら対応を行う。また、認知症高齢者の増加や、身寄りがなく、親族から支援が期待できないケースなどが増えてきているため、民生委員向けに権利擁護について研修を実施していく。			
目標（事業内容、指標等）			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
成年後見制度利用支援	1件	3件	3件
高齢者虐待対応	2件	3件	3件
目標の評価方法			
・成年後見制度利用支援事業の対象となる件数をカウントする。 ・高齢者虐待対応を行った件数をカウントする。			

取組と目標に対する自己評価シート(自己評価結果)

(実績評価)

実施内容
相談の経路や内容が多様化しているため、各相談窓口や関係機関が連携・調整しながら対応を行った。 今年度は生活支援係から成年後見人制度の町長申立に係る相談があり、生活保護受給者1件、養護老人ホーム入所者1件について対応し、成年後見人が選出された。
自己評価結果 【○】 ←(◎, ○, △, ×のいずれか※を記載してください。)
令和7年度実績 成年後見制度利用支援 → 2件対応（居宅：0件、施設等：2件） 高齢者虐待対応 → 0件対応 ニーズが把握できたものについては、全て対応した。
課題と対応策
【課題】 ・制度や支援の種類が多岐にわたる一方で、本人や家族にとっては内容がわかりづらく、適切な支援にアクセスできないケースが多い。特に権利擁護支援に関する情報提供が不足している。 ・高齢者や障害者への虐待、詐欺、経済的搾取などの被害は表面化しにくく、本人が自ら声を上げられない状況も多い。権利侵害の「見える化」と早期発見の仕組みが必要である。 ・ニーズが発生する場合は、支援者の死亡や入院・入所等で金銭管理してくれる人物がいなくなってしまう等喫緊の状態であることが多く、一方で後見人の選任までには半年以上という相当な時間を要するため、申立期間中は支払いが滞ってしまうため、病院等から度々苦情を受けることになる。 【対応策】 ・制度のわかりやすい周知と相談体制の強化を図る。 ・地域の専門職や関係機関との連携をより一層強化し、アウトリーチによるニーズ把握を進めると同時に、権利擁護に関するネットワークの構築及び取組を推進していく。 ・生活支援係等ニーズを把握しやすい部署に定期的に意見聴取する。

※「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」